

定位固定ターゲットポジショナー

【禁忌・禁止】

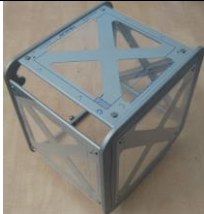
- ・ 本品は MRI（磁気共鳴画像診断装置）、PET（診断用ポジトロン放出断層撮影装置）、SPECT（核医学診断用ポジトロン CT 装置）での画像撮像には使用しないこと。
- ・ 紙に印刷した枠線およびマークが、ターゲットポジショナーキャリアプレート上の枠線およびマークと一致しない場合は使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 概要

本品は、ターゲットポジショナー本体、ターゲットポジショナーキャリアプレートおよびステレオタクティックカウンターウェイトからなり、定位放射線治療において患者のポジショニングに使用される。

2. 製品外観

製品番号	製品名	外観
40700-0	ステレオタクティックターゲットポジショナー	 原材料： アルミニウム合金
40700-3	レクセルヘッドリング用ターゲットポジショナー	 原材料： アルミニウム合金
40722	ターゲットポジショナーキャリアプレート	 原材料：ポリメチルメタクリレート
40732	ステレオタクティックカウンターウェイトキット	 原材料： ステンレス鋼

3. 原理

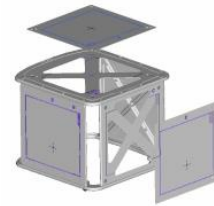
放射線照射野やアイソセンタ等を印刷した紙を、ターゲットポジショナーキャリアプレートに貼付し、ターゲットポジショナー本体の 4 つの面に取り付ける。本品に貼付した放射線照射野やアイソセンタ等の位置を、放射線治療装置の実際の照射野やアイソセンタに合わせることで、患者の位置決めを行う。放射線治療の際はターゲットポジショナーを取り外すが、釣り合い重りとしてカウンターウェイトを治療台に取り付けて、治療台のたわみ等による位置誤差を補正することもある。

【使用目的又は効果】

金属枠、およびプラスチック板で構成され、患者の頭部、頸部、および頸椎を適切に位置決め、固定する目的で特別に設計された装置である。放射線治療の際、連続的放射線治療で容易に再現性のある位置決めをすることが必要なときに使用する。

【使用方法等】

- (1) 放射線照射野やアイソセンタ等を印刷した紙を、A から D のマークが一致するように、ターゲットポジショナーキャリアプレートに貼り付ける。
- (2) ターゲットポジショナーキャリアプレートを、A から D のマークが一致するように、対応するターゲットポジショナー本体の 4 面（上部、前部、左部、右部）に取り付ける。



- (3) 治療台に固定した定位固定ヘッドリング（別売）またはステレオタクティックマスクシステム（別売）に本品を取り付ける。
- (4) 本品に貼付したアイソセンタの位置を、壁レーザーによって投影された治療台のアイソセンタの位置と一致するように患者の位置決めを行う。
- (5) 放射線治療装置の光照射野と、印刷された放射線照射野が一致していることを確認する。
- (6) 位置決めが終わったら、治療開始前にターゲットポジショナーを取り外す。
- (7) (オプション)ステレオタクティックカウンターウェイトを治療台に固定する。
- (8) 一つ目の照射野への治療を開始する。
- (9) 他の照射野については、ターゲットポジショナーを再度装着し、(4)から(8)を繰り返す。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- ・ ターゲットポジショナーの固定具がヘッドリングまたはマスクリングに噛み合わない場合は、使用しないこと。
- ・ 本品は、指定されたヘッドリングおよびマスクシステムとのみ併用すること。
- ・ 本品の使用には専用の器具および工具のみ用いること。
- ・ ヘッドリングとマスクリングの種類の違いによるターゲットポジショナーの使い分けに注意すること。
- ・ ターゲットポジショナーキャリアプレートおよび貼付した紙の位置ずれを防ぐために、取り付け後はそれらに触らないこと。

【保管方法及び有効期間等】

- ・ ターゲットポジショナー：常温・常圧下にて保管すること。
- ・ ターゲットポジショナーキャリアプレート：高温・高湿を避けること。

* 【保守・点検に係る事項】

<清浄方法>

本品は乾いた柔らかい布で定期的に清浄すること。頑固なシミは、少し湿らせた布を使用すれば取り除くことができる。

注意：

- ・ ターゲットポジショナーキャリアプレートはいかなる状況下でも滅菌しないこと。
- ・ キャリアプレートの清浄に洗浄液、溶剤、超音波洗浄機は使用しないこと。

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

[製造販売業者] ブレインラボ株式会社
電話番号：03-3769-6900

[製造業者] ブレインラボ エスイー
B r a i n l a b S E
製造国名：ドイツ連邦共和国